



# 令和5年度 大阪市立大正東中学校 学校教育改善アクションプラン

## 学校の教育目標

人間尊重の教育を基盤とし、生徒同士の心の通う人間関係や、教職員との信頼関係を確立するとともに、「確かな学力」「豊かな人間性」「健康や体力」など「生きる力」をはぐくむ教育活動を推進する。

### 重点目標

- ・基礎・基本の学力の定着など個に応じた指導を充実させる。
- ・学習習慣や生活習慣を身につけさせる生徒指導を実施する。
- ・互いの個性や違いを尊重し認め合い、人にやさしく、自ら考え行動できる生徒の集団を育成する。

### 校訓

- ・自由
- ・誠実
- ・明朗
- ・温雅
- ・感謝

### 目指す教員像



- ・寄り添いながら厳しく関わる教師
- ・指導力・実践力を研鑽し続ける教師
- ・生徒・保護者・地域から信頼される教師

### 目指す学校像

- ・人にやさしく、いじめのない学校
- ・社会のルールや命の大切さを学ぶことのできる学校
- ・自らの考えを深めたり広げたりできる機会のある学校

### 目指す生徒像

- ・人にやさしく、自分を大切にする生徒
- ・自ら考え責任を持って行動できる生徒
- ・授業・行事などに真摯に取り組む生徒

### 学校協議会

5月、11月、2月



### 「校長だより」、学校ホームページなどによる情報発信



### 安全・安心な教育の推進

自己肯定感を育む

いじめを許さない環境づくり

キャリア教育の推進

居場所のある学校づくり

### 未来を切り拓く学力・体力の向上

学習規律の確立

「主体的・対話的で深い学び」の推進

基礎基本の定着・わかる授業の推進

食育・運動の推進

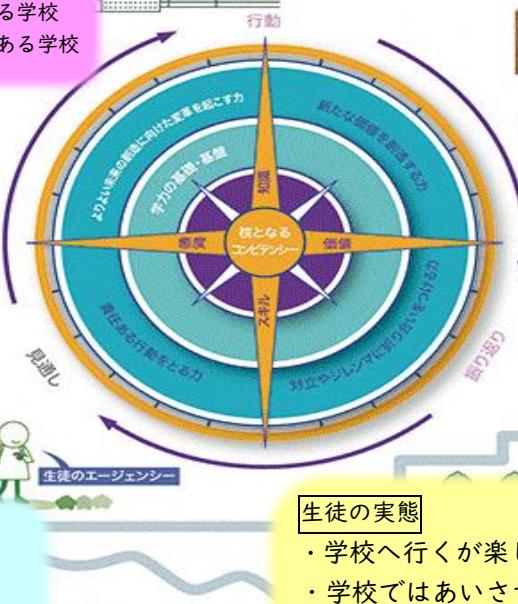
### 学びを支える教育環境の充実

ICT機器を活用した活動の充実

家庭学習の充実

道徳教育の充実

地域と連携した避難訓練・防災教育



### ウェルビーイング

#### 教育目標としてのウェルビーイング

- ①個人のウェルビーイング
- ②集団のウェルビーイング
- ③地域のウェルビーイング

「2030年という近未来において、子どもたちがウェルビーイングを高めて、物質的観点だけではなく、より豊かに生きるために、どのようなコンピテンシーを身につけることが求められるか」

出典 OECD ラーニング・コンパス (学びの羅針盤) 2030

### 生徒の実態

- ・学校へ行くが楽しい R5 : 91%
- ・学校ではあいさつをしている R5 : 97%
- ・学校のルールを守っている R5 : 96%
- ・授業などで友達との話し合いを通して自分の考えを深めたり広めたりする機会 R5 : 93%
- ・朝食を毎朝食べている R5 : 87%
- ・自分には良いところがある R5 : 75%

### 保護者の意識

- ・子どもは学校生活が楽しい R5 : 87%
- ・子どもは家庭や地域でよくあいさつをしている R5 : 86%
- ・子どもは家庭で学校の様々な出来事を話してくれる R5 : 84%
- ・学校の生活指導について理解している R5 : 92%
- ・学校は、学校の様子を発信している R5 : 91%

### 学校・教員への評価

- ・先生は困ったことについて相談にのってくれる R5 : 93%
- ・先生は保護者の相談にも乗ってくれる R5 : 87%